

組合員 各位

平素より、めぐみの農業協同組合の各事業に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当組合は、令和8年6月23日に第23回通常総代会を関市文化会館にて執り行いました。通常総代会に先立ち、コロナ禍により令和2年度以降開催を見合わせておりました通常総代会事前説明会を、今年度は計6会場で開催いたしました。開催に伴い、皆様からは、事前説明会開催までに49件、事前説明会当日には36件と合計85件ものご意見・ご質問を頂戴いたしました。皆様から承りましたご意見を真摯に受け止め、今後の事業・活動に邁進してまいります。

末筆ながら、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

めぐみの農業協同組合
代表理事組合長 渡邊 健彦

《営農・経済関係》

令和8年6月5日開催

1	質問	P15の受託販売品取扱実績について、計画に対する達成率を報告するべきではありませんか。 事業報告に関して、各種の実績数値は報告してありますが、計画への達成率が報告してありません。22回の資料と見比べろということですか。
	回答	総代会資料は行政への報告書にあたり、様式は農協法施行規則で定められており、その中で事業実績については過年度の実績を報告することが求められていることからこのような資料作りとなっておりますので、よろしくお願いいたします。 なお、計画に対する主な達成率につきまして、受託販売品取扱実績の穀類は103.54%、青果物は108.47%、畜産物は108.30%、合計では107.86%となっております。購買品取扱実績の生産資材は105.57%、生活資材は106.92%、合計では105.95%となっております。また、貯金は98.16%、貸出金は101.21%、長期共済保有高は100.04%の達成率となっております。
2	質問	自己改革実践計画のめぐみの主要農畜産物の生産・販売強化に関して、令和7年度目標の達成状況はどうなっていますか。
	回答	総代会資料P45.46に、令和8年度目標と共に令和7年度実績を記載しております。
3	質問	P52記載の畜産MAPとは何か。
	回答	Megumino (メグミノ) Agri (アグリ) Partner (パートナー) の頭文字を取り、MAP (マップ) としております。畜産MAPは、畜産農家の「持続可能な農業の実現」に向け、知識と経験を生かして組合員所得向上、組合員満足度向上を目指すことを目標としており、主に①畜産農家の経営に関する提案と指導、②優良繁殖雌牛の導入推進、③畜産農家の労働環境改善に向けた機器導入促進、④全国和牛能力共進会への取り組みをしております。
4	質問	P52記載のバイオスティミュラント資材とは。
	回答	肥料や農薬とは異なり、生物刺激剤として植物そのものの持つ力を引き出し、環境適応力を高める第3の農業資材として注目されています。 ①環境ストレス耐性の強化、②栄養利用効率の向上、③品質の向上、④根系の発達 ①～④のような効果を通じて植物をサポートします。

5	質問	鳥獣害対策に関し総代会資料では触れていないが、JAに期待をしているので対策を検討いただきたい。
	回答	総代会資料には記載をしておりますが、鳥獣害対策について行政と連携を取りながら取り組んでまいります。

《金融・共済関係》

1	質問	事業計画について、貯金残高増加は厳しいと考えるが方策は検討していますか。
	回答	厳しい状況ではありますが、魅力あるキャンペーンを展開する等して年度末貯金残高1%増を目指し職員一丸となり取り組んでまいります。

《総務・管理関係》

1	質問	P17の対処すべき重要な課題の中にマネー・ローンダリングに関する記載がありますが、どうしたら入出金がマネーロンダリングだと判断できますか。
	回答	大切な貯金をお守りするためシステムによる基準を設定し、モニタリングを行っております。また、窓口による聞き取りにより判断させて頂くこともございます。

2	質問	P19記載の「ALM委員会」とは何か。何の略ですか。
	回答	Asset(アセット/資産) Liability(ライアビリティ/負債) Management(マネジメント)の頭文字を取った名前となっています。JA収支の安定化を図るべく、資金の調達・運用の最適化を目指して、JAの資産・負債を総合的に管理することを目的とする委員会です。

3	質問	難しい語句の説明欄を設けるべきではありませんか。
	回答	貴重なご意見ありがとうございます。できる限り分かり易い表現で記載するよう心掛けます。ご不明な点に関しましては、最寄りの支店にてご説明させていただきます。

4	質問	R8年度信用事業計画は、金利上昇を踏まえた収益及び費用の計画ですか。
	回答	貯金の調達コストや信連預金の収益等、金利上昇を踏まえ計画をしております。
5	質問	4月に企画総務担当常務と金融共済担当常務を変更した理由は。
	回答	組織の力をさらに引き出すため変更いたしました。
6	質問	事前説明会は開催をする必要があるのか。
	回答	組合員のご意見をしっかりと受けながらJAを運営していきたいと考えております。また、皆様からのご質問に対しては、丁寧にお答えしたいと考えております。加えて、総代会当日には多数の方からのご質問にお答えできないかもしれません。このような考えから、事前説明会を6会場で開催することといたしました。
7	質問	他地域で開催する総代会事前説明会の質疑応答を共有していただきたいです。
	回答	総代会当日の質疑も含め、総代会終了後にホームページに掲載する等検討いたします。
8	質問	協同組合の経営者層の課題として、如何に出資配当金を増加させるかがあると考えます。どのようにして出資配当金を上げるか検討いただきたい。
	回答	JAが組合員に還元する場合、出資に対する出資配当と事業利用に応じて配当を行う事業利用分量配当があります。今後、事業利用分量配当ができるよう検討をすすめてまいります。

《監事監査関係》

1	質問	P19の5. 監事監査の実効性を確保するための体制（3）理事や内部監査部門等は監事と定期的な協議、十分な意思疎通をはかることにより、効率的・効果的監査を支援するとあるが、定期的の頻度や回数、時期は。
	回答	<p>（理事）</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日に開催される常勤役員会にて意見交換を行っています。 <p>（内部監査部署）</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期開催される監事会にて情報の共有を行っています。 （令和7年度監事会11回 監事監査4回） 担当は、ほぼ毎日午前中に常勤監事と打合せを行っています。
2	質問	工藤ゆかり氏を、地区を定めない監事としないのはなぜですか。
	回答	常勤理事や常勤監事は、業務に精通する者を地区を定めずに選任するため、常勤監事である石原氏を地区を定めない監事とし、非常勤監事である工藤氏を地区から選出いただきました。

4	質問	農機センターの郡上南部地域と北部地域の取り組み方に違いがある。南部地域は作業員の人数が不足しており作業が遅れている現状である。総代会資料にスマート農業とあるが、人員を増やすことについて考えていただきたい。
	回答	今すぐというわけにはいきませんが、検討いたします。南部地域、北部地域にそれぞれ担当がおりますので、お互いの応援体制についても検討いたします。また、採用に関しましては、若い方を中心にと考えておりますので、今後募集をしていきます。
5	質問	J Aから農機の更新について適切なアドバイスをいただきたい。
	回答	大手メーカーの井関、クボタ及びヤンマー等の取扱いがあり、農機担当、MAP担い手担当者が情報共有を行いながらご相談、ご提案をしております。
6	質問	新規職員採用について、J Aは農機担当者を育成していかないといけない。大手メーカー等への出向による教育も有効な手段であると思慮する。また、農業者に簿記の企業会計を行うような指導を願いたい。実際に労務賃を差し引いて利益を上げているのか分かっていないと近代的な農業経営はできない。
	回答	新規職員採用は厳しい情勢にありますが、地元職員の応募をすすめるため、独自ポスターを掲示するなど努めております。また、企業会計は、実質利益を明確にするためには大切なところですので、MAP・営農指導員による経営指導に努めてまいります。

7	質問	<p>MAPととれたった広場等の直売所を連携させ、直売所の在庫（品薄な商品）等情報提供をして頂けるとありがたいですが、無理でしょうか。</p> <p>直売MAPの活動はよく存じているが、とれたったひろば両店の状況（売れ筋品目など）は郡上の生産者は分かっていない。販売実績がデータで個々に届くのみである。委託品販売高を伸ばすには、季節ごと時期ごとに品薄な品目の情報発信をしていただきたい。</p>
	回答	<p>直売所の在庫状況（品薄な商品）の発信については、現在週単位で「主要販売野菜類店頭価格表」により出荷量状況を、とれたった便の集荷所および各店舗で掲示しております。</p> <p>各支店での掲示を含め、出荷者への個々への情報提供については、今後、方法を含め検討します。</p>

8	質問	<p>地域では農地の集積や農地を耕す上で農業に携わる人材が減少しつつあります。現在はスキルの高い一部の農協職員の能力に頼ることが多いですが、将来の職員全体に農業に対する認知度の低下を心配しております。地域内の農業に関わる人材の減少が関係組織全体のスキル低下をもたらしていませんか。</p>
	回答	<p>ご意見の通り、人材減少に伴う職員の農業認知度やスキル低下は重大な課題と認識しております。現在は一部の専門職員に頼る面が多くありますが、組織全体の底上げが急務と考えます。ジョブローテーションも含め幅広いスキルを習得できるよう若手職員の育成に努めてまいります。</p>

9	質問	<p>水稻栽培管理記録簿について 作業日誌欄の中に昨年度から中干項目が追加され出穂期、収穫予定日の記入項目がありますが、収穫予定日を重視していただきたいと思います。 稲刈りは田植えの順番と聞いたことがありますが、今年度においては田植えの時期が幅広く対応されライスセンターの混み具合も緩和され则认为ます。 ※畔の草刈り、稲の実り具合を見ては場の落水等をおこなっていますので、田植えの順番ではなく収穫予定日の記入を主に考え稲刈りをしていただきたいと思います。</p>
	回答	<p>ご質問のとおり、近年は高温対策と作業性を考慮し、田植時期に幅を持たせております。合わせてスムーズな収穫作業へと誘導できるように収穫予定日の情報を作業オペレーター、ライスセンターと共有し刈取計画、ライスセンターの受入態勢に落とし込んでいきます。</p>

10	質問	<p>田植時期について、私たちは水稻硬化苗をJAから購入している。一昨年までは苗の配布時期が5月中頃であったが、昨年から5月下旬になったため田植作業計画にズレが生じた。稲刈り時期が重なり大変であったため、以前の時期に戻す、もしくは苗配布時期を早める、あるいは農家の希望に応じて苗配布を行ってもらうことができないか。私たちは、JAから苗購入後の田植え、稲刈及び乾燥調製を自分たちの施設で行い農協の施設利用計画に迷惑をかけないので、私たちの希望日で苗配布をお願いしたい。</p>
	回答	<p>田植時期については、近年は高温障害対策として田植え時期に幅を持たせたため若干、苗配布時期が遅くなっています。田植えから秋の稲作り、ライスセンターの利用まで含めて計画をしておりますので、現在の苗配布時期としていますが、ご自分の施設で稲刈り、乾燥調製まで自己完結される方はご希望に沿うような苗配布時期となるよう検討させていただきます。</p>

11	質問	<p>県産米の新品種（清流のめぐみ）について 5/23岐阜新聞で報じられていました温暖化対応米を、今後JAめぐみの郡上ではどのように考えていますか？</p>
	回答	<p>郡上エリアにおきましては「清流のめぐみ」への取り組みは現段階で検討しておらず、現在同じく高温耐性品種の「にじのきらめき」実証試験を担い手経営体にて行っており、令和8年産におきましては概ね4.5haの作付となっております。 今後、試験の結果を踏まえ導入を検討します。</p>

12	質問	第4号議案にある出資法人の合併については大賛成です。農機等の高効率の使用例、経営の見本になるような法人にしていきたい。
	回答	様々な相乗効果を最大限発揮するために尽力してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

《金融・共済関係》

1	質問	現在の社会ではインターネット等を活用し円滑な自動車保険の申込が増加しているが、JAでもそのような取り組みは計画されていますか。
	回答	自動車共済の手続きにおいて、年々システム化を進めておりますが、新規の契約手続きにおいてインターネット申込は現在ございません。

2	質問	他社の保険会社にて、ドライブレコーダー付き自動車保険があるが、JA共済も他社と比較し検討をしてくべきだと考えますが、どのように考えていますか。
	回答	自動車共済におけるドライブレコーダー付き仕組みは、商品開発・改訂に関する事項となり、全国共済農業協同組合連合会（全国組織）がそれを担っております。当組合といたしましては、頂戴したご意見を基に要望として申し伝えさせていただきます。

《総務・管理関係》

1	質問	現在の女性管理職の人数を教えてください。
	回答	支店長2人・課長1人、次長23人、合計26人となっております。 JAめぐみの管理職員は238人で、女性管理職の割合は10.9%です。
2	質問	女性管理職を増やすための取り組み等、実施している方法と課題について教えてください。
	回答	女性管理職の割合を目標設定するとともに、育児休業・介護休業・短時間勤務の女性職員に対しても男性職員と同様の基準で評価するよう努めております。しかしながら、キャリア志向の女性職員が一定数に留まっていることから、これを課題として捉えております。将来の管理者候補研修に位置づけられる中核人材研修会への参加や管理職登用試験への積極的なチャレンジを求め、女性管理職の増員に努めてまいります。
3	質問	女性管理職登用について、スムーズな登用となるようお願いをしたい。
	回答	初級・中級・上級といった認証試験制度があり上級資格を取得後、管理職登用試験を経て管理職の登用資格取得となることを定めております。まず、上級の認証資格取得・管理職登用試験合格を目指すよう働きかけを行っておりますのでご理解をいただきたいです。

	質問	説明資料は、カタカナや英字表記では言葉の意味が分からないので、分かるように日本語で資料を作成していただきたい。
4	回答	できる限り分かり易い表現で記載するよう心掛けます。 尚、今年度は間に合いませんが、次年度以降用語集を付けることを検討いたします。

《営農・経済関係》

令和8年6月8日開催

1	質問	ライスセンターへの米出荷について 米の購入者から害虫（カメムシ）被害の米が入っていたとの苦情を聞いた。 色選機にて選別してみえると思うが、そもそも被害の酷い米を出荷してみえる農家があるように思われる。そのような農家に対して、出荷をお断りするか又は薬の散布をきちんとやって貰うように指導を強化する等の対応が必要と思われる。
	回答	稲作シリーズの活用及び水稻青空教室の対面開催を通して、薬剤を使用した効果的な防除等組合員への周知と営農指導の強化に務めてまいります。また、荷受け後のサンプル自主検査の数値をもとに色選落ちの歩留まり量が決まりますので、被害の酷いものは出来上がりの製品量に影響が出ることを、荷受け時にしっかり発信いたします。
2	質問	グリーンやまとで精米業務に携わっておりライスセンターの製品も多く扱うが、中にはカメ虫被害が多い製品もある（製造ロットで差がある）ので苦情に繋がるのではないか。 栽培講習会、営農指導を強化し被害を少なくすることも大事なことだが、ライスセンターの荷受けロット毎でカメムシ被害の差が大きいことへの回答が欲しい。
	回答	カメ虫被害が多い粳が持ち込まれる可能性はあるので、その事については荷受け毎のサンプル自主検査の数値で色選落ちの玄米が多く歩留まりが悪いことを説明しますが、被害の程度に応じて色彩選別機の調整ができる体制を取っていきたいと考えています。現場の状況に応じた対応を徹底し、組合員の良質な米作りに貢献していきます。
3	質問	私は大和ライスセンター勤めているが、持ち込まれた粳はカメムシ被害が多い少ないにかかわらず、今の状況では受入れしなくてはならない。また、共同乾燥施設であるため、被害の多い粳も同じ乾燥機に搬入せざるを得ないため混ざってしまう。機械設備の整備を行う等の対応が必要。大和ライスセンターは、製品製造作業では30kgの米袋を多く手作業で扱うため、製品を積む設備導入など労働環境の改善も必要。昨年の総代会で意見のあった乾燥施設への荷物の持ち込み時間については、天候や状況に応じて、粳の受け入れは柔軟に行って欲しい。
	回答	ご意見として承ります。

4	質問	令和9年度からコシヒカリに変わって、高温耐性品種（にじのきらめき）に変更するといった考えはないか。
	回答	夏の高温により米の品質低下が著しい地域も多く、高温に耐えられる品種を作付けしていきということなどで高温耐性品種（にじのきらめき）を取り入れていく計画ですが、おくみの地域はブランド米おくみのコシヒカリの産地でもあり、どちらかをといった選択は難しいです。郡上市内においても、南部地域と北部地域（大和町、白鳥町、高鷲町）では作柄の違いがあり、北部（おくみの地域）では従来通りコシヒカリでも高温による米の品質の低下は少なく、南部地域（美並町、八幡町、明宝、和良町）では高温による品質低下が顕著であり、そのような地域から順次切り替えていく計画です。

《金融・共済関係》

1	質問	同一支店内での振込手数料を無料にして欲しい。 他の金融機関において無料としている所もあり、JAめぐみにおいても、組合員利用者サービスのために無料にして欲しい。
	回答	手数料設定は金融機関毎に違いがあり、同一支店内振込を無料としている金融機関が一部あることも承知しております。 ご要望の当組合の手数料について、同様の振込手数料を設定している県内他金融機関と比較して半額以下と低く設定しております。また、ATM・ネットバンクによるお取引では無料としているため、ご理解賜りたく存じます。

2	質問	同一支店内での振込手数料を無料にして欲しい。 ATMやネットバンクの手数料は低いことは分かるが、高齢者は窓口で従来通り紙での手続きをしたい方は多い。組合員の為の農協であって欲しい。
	回答	同一支店内の振込手数料の件については、他の金融機関と比較すると半額以下で設定しております。但し、一部信用金庫においては金額問わず無料といった状況です。 その事につき内部で検討しましたが、現在の手数料金額でご理解いただきたいです。

《総務・管理関係》

	質問	<p>郡上の支店・事業所の職員の中で郡上出身の職員が非常に少ない。職員募集、現在の新採用の状況について、職員を募集しても応募が少ないのか、もしくは現在の職員数内で事業を行っていく計画で採用をしないのか、近隣信用金庫は遠方の異動がない条件で募集し、地元出身の職員を採用していると聞いた。</p> <p>支店窓口で、現金の入出金だけでタブレットを使って手続きするのに非常に時間がかかった（分からない、慣れない）。スムーズに進まないため後がつかえ、しかも顔見知りの職員がいないため聞きづらい。</p>
1	回答	<p>JAめぐみのに限らず他の企業においても同様ですが、募集をかけても応募が少ない状況です。そのようなことから、令和8年4月より初任給大幅アップ(高卒、短大卒、大卒ともに)を実施し設定しました。初任給をアップすることで現在の職員の給与もアップし、職員のやる気を上げるためにも実施しました。特に郡上地域からの採用が少ないことで、ポスターを作成し支店等に貼付し郡上地域からの採用を増やそうと取り組んでいる最中です。JAは地元顔がある職員は非常に重要で、地域毎の採用は重要と考えています。</p> <p>支店窓口での待ち時間については各支店で異なり、支店長の裁量に任せてあります。タブレットの扱い方については各支店に案内人(コンシェルジュ)を配置し、丁寧に説明する職員を選任し、組合員対応へ配慮することを行っております。</p>
2	質問	<p>目的積立金を積み立ててあるが、積立金を取り崩して使うような事があったのか、また積み立てをして使用する計画があるのかを確認したい。</p>
	回答	<p>税効果調整積立金は、会計上と税務上で異なる部分が発生するため使用しています。</p> <p>施設整備積立金については、支店再構築及び営農経済施設の再編等が発生した場合、固定資産減損処理会計の対応が必要な場合に使用しておりますので、使用した分を戻すために積み立てをしております。</p> <p>令和7年度は、税効果調整積立金57,816千円、施設整備積立金37,096千円、加工事業積立金40千円の取り崩しをそれぞれの積立金から行いました。</p>

《営農・経済関係》

令和8年6月9日開催

1	質問	米の価格見通しとJAめぐみの取り組みについて、令和7年度米の在庫が多く、令和8年度米の概算金下がると報道されていますが、価格についての今後の見通しをお聞かせください。また、JAめぐみでは、令和7年度米（主食用米）の販売（在庫減少）にどのように取り組んできたのか、その結果はどうだったのか教えてください。
	回答	概算金は全農、県下7JAの協議によって決定されます。全農米穀部において概算金設定を目途とした米卸業者との令和8年度産米の価格について交渉を始めたところではありますが、令和7年度産米の在庫販売に注力しており具体的な価格交渉までにはもう少し時間がかかる場所があります。 当組合では本年国が1俵あたりの生産コスト指標を20,535円と公表しており、この価格をベースとして価格決定できるよう全農との交渉に臨んでまいります。
2	質問	備蓄米放出による政府への返却（回収）について、令和7年度米の在庫が多く、令和8年度米の概算金下がる現状において、備蓄米放出による政府への返却（回収）は行われるのでしょうか。返却すれば令和7年度米の在庫が減少し、過度な価格低下は避けられると考えますが、いかがでしょうか。
	回答	備蓄米放出による政府への返却（回収）については、各県域単位で入札方式により実施されておりますが、その米は令和8年度産米による買い戻しであり、令和7年度産米の在庫を減少させることはできない状況下にあります。従って、令和8年度産の主食用米から水田活用米穀（加工用・米粉用・飼料用等）への切り替えを水田農業担い手経営体を中心に提案しております。
3	質問	お米の価格と在庫に関して、「お米5キロ購入で卵1パックサービス」といったキャンペーンを行っていますが、市場価格や情勢の変化（物価高騰対策や在庫の余剰など）もあり、難しいことは理解していますが、単に特典をつけるだけでなく、肝心のお米の店頭価格を明確にアピールしても良かったと思います。今後のお米の価格、在庫は問題ないでしょうか。
	回答	在庫については、JA直売所等の販売分を確保しているものを保有しており、それ以外の米は全量販売契約に結びついております。 今後の米価格につきましては、民間在庫数量が国の示す米の適正在庫数量を大きく上回る予測状況の中で、令和7年産と比較し、値下がりしていくことが懸念されています。

4	質問	P51 営農指導部門（1）②新規作物・新品種の導入による産地づくりへの取組について、「誰が」「何の」栽培を行う計画ですか。 （1）③地域の農地を守る活動（耕作放棄地保全対策）に対する取組について、JAとしてはどのような支援や対応を行うのですか？
	回答	地域の農業を元気にする活動を応援することを目的に「農業の応援団」を5月1日より実施しています。 5名以上の団体で、資料の通り①～④のいずれかの取組を計画し活動する団体に対し、1取組あたり上限100万円を支援します。地域のみなさまの自主的で主体的な取組について、必要に応じて金銭面や営農指導などの支援を行うとともに、取組に対する取材を行い、地域全体にPRしながら地域農業の持続的な維持発展を目指すものです。

5	質問	「農業の応援団」に関して、「5名以上の団体で、資料の通り①～④のいずれかの取組を計画し活動する団体に対し、1取組あたり上限100万円を支援します。」の「資料の通り①～④のいずれかの取組」というのはどのような取組のことか（どこに記載があるのか）知りたい。
	回答	総代会資料51ページの営農指導部門（1）農業振興または食農に関する活動を行う「農業の応援団」の支援は、①農産物生産において新技術（スマート農業含む）や新たな栽培方法の導入②新規作物・新品種の導入による産地づくりへの取組③地域の農地を守る活動（耕作放棄地保全対策）に対する取組④食農教育活動全般にかかる取組に対して行うため、上記①～④の取組となります。

6	質問	総代会資料51ページの営農指導部門（1）農業振興または食農に関する活動を行う「農業の応援団」の支援 ①農産物生産において新技術（スマート農業含む）や新たな栽培方法の導入の「スマート農業」というのはどういう意味なのか。
	回答	スマート農業とは、機械化がされた新たな技術（例えばドローンでの散布など）を導入した農業のことで、新技術を取り入れた活動に対しても支援いたします。

7	質問	栗の販売価格および価格設定について、自己改革実践の基本的な考え方では、担い手を中心とした取り組みが大きく打ち出されています。私は栗の新規就農者ですが、栗の販売価格は市場相場に準ずるものなのでしょうか。そもそも採算が合うのか、資材高騰の現状では販売価格が低いと感じています。栗の販売価格についても、原価計算に基づく販売価格を算出し、納得できる価格を提示、その上で販売することはできないのでしょうか。
	回答	農産物は一律のコスト積み上げ方式による販売が難しい側面もありますが、当JAでは、生産コストの上昇を念頭に置き、和洋菓子店や加工業者などの実需者に対して、市場相場を概ね200円/kg上回る価格での直接販売を行っております。そのため市場価格に準ずる価格より高い価格で販売ができております。 市場価格は600円～1,000円/kgとなっております。 全ての等階級を平均した価格は1,000円/kgを上回る価格で販売しております。 JAと致しまして今後も、農業所得の増大を目的として業者等と価格交渉を行ってまいります。

8	質問	合理化とその効果について、物流改革をはじめ、LPG、石油事業譲渡など、人件費削減や業務の効率化・集約化を謳って職員数の削減や配置転換が進められる一方、それが実際の事業実績の維持やサービス向上などの「合理化の効果」として正しく機能しているかお聞きしたい。自動車事業の急激な減少を見ると、単なる事業縮小や現場の負担増を招いているだけではないかと心配している。合理化とその効果を明確にしてもらいたい。
	回答	物流改革や事業再編により、業務の効率化・集約化を進める中で、事業環境の変化に対応した人員配置の見直しを実施してまいりました。 これらの取り組みの目的は、単なる人件費削減ではなく、組合員サービスの維持・向上と持続可能な事業運営を実現することにあります。 その効果については、 ・余剰在庫の減少による費用削減。 ・商品欠品率の低減により、円滑且つ確実な配達が可能となりました。 ・事業譲渡による管理コストや維持コストの軽減などの面で成果が現れております。 ご意見のとおり、合理化を進めるにあたり組合員サービスの水準が維持・向上されているかが重要であると認識しております。そのため、窓口対応や営農支援体制、各種事業の利用状況などを継続的に検証しながら、必要な人員配置や業務改善を行ってまいります。 自動車事業につきましては、購買品取扱実績は減少しておりますが、拠点統合による営業とサービスの一体運営により、施設管理費等が削減され、令和7年度事業利益は確保されております。 今後は、事業実績や組合員満足度などの状況を踏まえながら、効率的な運営とサービス向上の両立に努めてまいります。

9	質問	購買事業の利用（肥料・農薬等）において、利用者が「今すぐ・リアルタイムに欲しい」ときに在庫がない、あるいは問い合わせに対して対応できない問題が生じていますので、改善をお願いしたいと思います。また、総代会資料において、近年、肥料価格の高騰・変動が大きく、動きが掴みづらいため、実際の「出荷数量」を明示して事業の実態が分かるようにすべきと感じます。
	回答	肥料・農薬等の当用品は、みのかもエリアの購買店舗（みのかも営農経済センター・みのかも東支店・富加支店・ひすい支店・八百津支店・久田見支店）にて販売しております。また、物流戸配送では午後2時までに注文いただいた商品につきましては、原則翌日配送にてお届けをさせていただいております。お問い合わせいただいた店舗にご希望の商品が無い場合には、近隣の店舗へ在庫確認を行ない、ご案内いたします。また、出荷数量に関しては購買事業は取扱い品目が多種にわたり、全てにおいて数量を明示することは困難ですので、取り扱い高で表示させていただいております。

10	質問	組合長の挨拶で「厳しい状況」と述べられているが、「何がどのように厳しいか」の具体的な中身や背景、乱高下の詳細など、しっかり記載してほしい。
10	回答	生産資材は、2020年度から比較し135%、重油は185%と価格が高騰し高止まりしています。さらに、農畜産物の価格は、工業品と違い市場で決まるため価格転嫁できず、農業所得を圧迫しています。また、昨年度は米が概算金ベースで29,000円と高値で推移しましたが、今年度国の生産コスト指標は20,535円と公表され、前年比価格が低下することが見込まれるため乱高下の記述としました。
11	質問	P46 ③、④の記載についての質問です。令和8年度目標は、いずれも前年対比103%、キロあたりの単価が掲載されています。令和7年度は前年比(%)のみとなっており、なぜ前3カ年比が出ているのに開示されていないか。
11	回答	大変申し訳ございません。表示方法につきましては特別な意図はございません。 ③トマトについては7年度目標値：396円/kg ④いちごについては7年度目標値：1,566円/kgとなります。
12	質問	P53(5)② さといもの収量増加・品質向上による取扱高増加(27,600千円) P15の表を見ると毎年減少傾向にあります。ここから大幅な増加を見込むのは難しいのではないのでしょうか。すでに契約農家を確保できているなど、具体的な目処はあるのでしょうか。
12	回答	令和5、6年度と高温・干ばつ・病害の発生により単収は例年の概ね4割減と大幅な減収となっております。その中で高温対策として黒マルチ栽培からシルバーマルチへの転換や、マルチ栽培から土寄せ栽培への転換、高温干ばつ期の灌水管理の徹底など栽培管理方法の見直しを進めており、7年度においてはその成果も出始めており、8年度においても、高温干ばつ下の栽培管理の徹底を図る取組を進めるとともに、秀品率を高めることによる販売価格の上昇も狙う中で、表のと通りの前向きな計画を立案しております。
13	質問	P54受託販売品計画 ほうれん草(18,000千円)に関して、P15の表では令和7年度に大幅減に転じていますが、これを令和5年並みの水準まで戻すことは可能なのでしょうか。令和7年度の大減の理由が明確になり、それに対する具体的な対策が講じられたからこそ「戻せる」という計画になっているのか、根拠を教えてください。
13	回答	ほうれん草につきましては、大雪被害によりほとんどのハウスが倒壊するなどし、栽培出荷ができなかったことが大幅減の要因となっており、施設の再建を実施し今年度より再スタートを切っております。

14	質問	<p>P52（8）畜産技術に対する支援に関して、防疫指導や技術改善は、JA単独で行った結果を指導に反映させるということでしょうか。県の畜産研究所と連携して防疫指導・技術改善を行う方が、コスト削減につながる上、データに基づいたより効果的な指導ができるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>
	回答	<p>現在、畜産課職員および畜産MAP（専任担当）の長年培った経験や知識により、技術指導や防疫指導を行っておりますが、岐阜県畜産協会が主催する畜産経営診断事業により、県、行政とJAが協力し、経営、技術、防疫指導を実施します。</p>

15	質問	<p>WCS（飼料用米）の作付けについて、規則等はあるのか？ 例えば、飼料用米作付け終了後、普通の米を作付けした場合は何年後であれば、カントリーの荷受けは大丈夫なのか？ 3年間はカントリーに入れないとか？</p>
	回答	<p>コンタミを心配してのご質問かと思えます。 国やJA統一のルールとして一律の規制はありません。 WCS品種作付の翌年に主食用品種を作付したものをカントリーエレベーターで荷受拒否することは想定しておりません。 WCSについては子実収穫が目的ではないため「漏れ生え」のリスクは極めて低いと思われませんが、そういった作付を行う予定がある場合は十分にご注意を願います。</p>

16	質問	<p>（上記13番の） 「WCS（飼料用米）の作付けについて」の回答について、この回答内容でよろしいでしょうか。</p>
	回答	<p>WCS（飼料用米）の作付けについては、回答のようにコンタミを心配されてのご質問かと思えますが、国やJA統一のルールとして一律の規制はなく、WCS品種作付の翌年に主食用品種を作付したものをカントリーエレベーターで荷受拒否することは想定しておりませんので、WCSについては子実収穫が目的ではないため、「漏れ生え」のリスクは極めて低いと思われまます。そういったことで作付けを行う予定がある場合は、十分にご注意をお願いしたいとの回答とさせていただきます。（コンタミという観点を持っておりませんので、JA米として取り扱いたいと思っております。）</p>

17	質問	<p>グリーンセンターについて、駐車場および出入口が混雑により整理されておらず、危険な状態となっています。競合店舗（ゲンキーなど）のように、セルフ・セミセルフなど、レジシステム導入による回転率の向上や、駐車場への入口・出口を看板で明確に区分する等、適切な誘導・駐車場管理を行い、利用客のストレス緩和とスムーズな動線の確保を可能にする対策が必要です。早急な対応を望みます。</p>
	回答	<p>売り出し等の際には、看板設置について協議をしましたが、かえって混雑を招く恐れもあるため、引き続き警備員を配置して安全な駐車場管理に努めてまいります。 セルフ・セミセルフレジは、費用面や設置場所の観点を含め検証に努めてまいります。</p>

18	質問	子会社である農業法人の決算状況について、企業経営に重要な指標ですが、総代会資料では詳細がつかめないと感じます。また、圃場の管理状態（草刈りや水の管理など）が悪く、近隣農地に迷惑をかけているので、人員配置と管理面積のバランスを見直し、適切な耕作・管理を行うなど、圃場管理の適正化をお願いします。
	回答	総代会資料の記載について、JA本体決算への影響が小さいことから連結決算の対象としておらず、必要項目のみの掲載としております。なお令和7年度の出資法人決算は全社黒字となっております。圃場の管理状態につきましては、受託面積及び維持に関する検証を現場管理者及び担当者で行い改善に努めてまいります。

19	質問	農業の再生ということで、米作りとお茶づくりが今大変問題になっていると思いますが、外国の人たちが田んぼや畑で一生懸命に農業をする中で、若い人たちが生活できる例えば500万円とか600万円ぐらいの収入が得られる農業を目指すためにどうしたら良いか。また、世界情勢が変化する中で（戦争等があった時等）、外国から米が入ってこない場合に日本で食（米）をしっかりと確保できるか。お茶とか野菜とか色々なものは確保できるか。
	回答	自給率の確保が重要ということですが、地域の農業をしっかり守っていくのは担い手の方々ばかりではなく、兼業農家の皆さんにもお力添えをいただいている現状とっております。兼業農家の収益を上げるために、JAめぐみのも直売事業で色々喜んでいただきたいと進めておりますが、やはり限界がございます。いわゆる農地の政策、水田の政策等と条件不利地、中産間地域等の予算要請や施策の見直しということ、すぐに反映されないかもしれませんが、国・県等にJAグループとして声を上げて要望していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

20	質問	農業を少しでも優遇するために、トラクターや田植え機の税金は無税にならないか。または無税にならないければ、農協の補助金制度というのではないか。
	回答	税金については行政が決めることですが、ご意見として受け止めさせていただきます。

21	質問	(有) アグリアシストみのかもが解体して、新しい組織になるということを聞きましたが、どのようになるのかをお聞きしたい。
	回答	現在JAめぐみには、JAが出資をして設立している農業生産法人が(有)アグリアシストみのかもを含めて5地区に1社ずつ5社あるという状況です。経営・財務基盤の強化を目的に、1つの有限会社を株式会社化した上で、他4社を吸収合併して1社の株式会社にするという形態です。株式会社化した折には、アグリアシストみのかも支店という形で正式に登録し、活動としては地域の農地をお預かりして耕作するという内容・作業的には今までと変わらないものとなりますので、よろしくお願ひいたします。

22	質問	第23回通常総代会提出議案の第4号議案に「令和8年7月1日付で、当組合の出資農業生産法人5社を合併し、」とあるが、具体的にどの法人なのか教えていただきたい。
	回答	総代会資料32ページの(8)子会社等の状況に記載されている可茂中央市場(株)を除く①(有)おくみの農援隊②(有)アグリスサービス郡上③(有)中濃農産④(有)アグリアシストみのかも⑤(有)土利夢ファーム可児の5社となります。

《金融・共済関係》

1	質問	貯金についてJAの利息(金利)はいつも店頭金利のような感じですが、近隣の他行は年金受給者に対してプラスアルファのような利息(金利)があり、1円でも多く積んでいただくという努力要素が見られます。しかし、JAはそういう努力をせずに投資だけに逃げていたような話で貯金残高が減ってきているように見えますが、その点はどうお考えでしょうか。
	回答	特別金利でのキャンペーンを展開し貯金残高の伸長に努めてまいります。ご利用のほど、よろしくお願ひいたします。

2	質問	生命共済の件ですが、高額医療費（先進医療費）というのは、例えばガン治療で陽子線治療に200万円～300万円という大変な額になった時、JAから共済金の支払いはされるのでしょうか。
	回答	共済金の支払いについては、ご加入いただいている契約の種類や病名・病気の内容等の関係もあり即答はいたしかねます。後日、支店等でお話を伺いながら説明させていただきます。

3	質問	みのかも東支店の職員が、窓口をできるだけたくさん使って早く受け付けてくれるようになり、対応が大変良くなったと思います。
	回答	お褒めのお言葉をいただき誠にありがとうございます。今後も、喜んでいただけるよう、支店運営に努めてまいります。

《総務・管理関係》

1	質問	剰余金、組合員サービスに関して、過年度を参照し、剰余金が大きく増加しているのであれば、配当金の率を上げて組合員へ還元するか、あるいは昔のように記念品（帽子など）を配るなど、組合員がメリットを実感できる還元・サービスを積極的に行い、組合として一体感を出すべきと感じます。
	回答	令和8年度以降は内部留保を高めるとともに、組合員の皆様へ事業利用分量配当金という形で剰余金を還元できるよう組合員メリットの創出について検討を始めています。そのためには一定の剰余金を計上できるよう組合の事業利用を一層よろしくお願い致します。

2	質問	農協の組合員離れが進んでいると感じている。理事、幹部の皆様はもっと自ら現場に足を運び、組合員や職員の声を直接聞くことで、組合全体の状況を正しく理解し、経営に活かしてもらいたい。
	回答	役員、幹部職員は各地区開催の地域運営委員会や支店ふれあい委員会、主要部会等の会合や意見交換会等に出席、今年度からは事前説明会を開催し組合員の意見を事業に反映できるよう努めております。今後においても理事・幹部自らが積極的に現場の声に耳を傾け、信頼される組合運営に邁進してまいります。

3	質問	<p>昨年の総代会資料と比較した際、組織機構図が変更となっている。しかしながら、新旧の対比が無く詳細がわかりづらい。グループ制の廃止に伴い、各エリアに「エリアの管理者（エリア長）」が配置され、営農経済センターが直属化されていることも含め、かつての所属長が、補佐的なポジションに回るなどの人員配置が行われたと推測される。エリア長の負担も増え、組織図のレイアウトも大きく変わっているので、その再編意図や背景を資料内でしっかり説明して欲しい。</p>
	回答	<p>エリア長の設置については、本店からの方針を反映し、各エリアにおいて一丸となった事業活動が必要となってくるなか、本店各部門との連携を密にし、本店と各エリアをスピーディーに繋げていくとともに、各エリアにおいても営農経済Cと支店を繋げる役割を担うエリア長を設置いたしました。また、他に主要な変更点としては、営農部と経済部を統合し営農経済部に変更、新たに営農経済企画課を設置した中で、一丸となった事業運営を目指してまいります。</p>
4	質問	<p>人事制度改革による「職員の成長と経営成長の連動」その大枠の目標に対するロジックが末端まで落ちているかどうか。</p>
	回答	<p>組織目標を各部・各課の部門目標へと具体化し、最終的には職員一人ひとりの個人目標に分解することで、組織目標と個人目標を繋げていきます。職員が自分の業務が農協のどの目標に繋がっているのかを理解し、納得して行動できる仕組みを構築するとともに、職員自らの成長とJAの成長を連動させ、働き甲斐のある環境を作るためロジックツリーの考え方を浸透させてまいります。</p>
5	質問	<p>以前見えていた「どこにどれだけ投資したか（金額）」が見えなくなっている。</p>
	回答	<p>第18回通常総代会の報告から、固定資産の増加・減少要因等を記載した貸借対照表等の附属明細書に関しては、法令・定款の規定に基づき、当JAのホームページでの掲載に変更させていただいております。尚、固定資産のうち、建物については1億8,600万円が増加し、みのかもエリアにおいては恵昇苑みのかも改修工事で1億3,800万円、新規いちご就農者2名へのビニールハウスで約3,600万円の投資を行いました。</p>
6	質問	<p>P47 上から3行目「シミュレーションを実施した結果、事業利益および経常利益はプラスを維持できる見込みです」 これは単年度ですか、それとも複数年度にわたる見込みですか。</p>
	回答	<p>シミュレーションは、5カ年シミュレーションを実施しており、5年間にわたる見込みとなります。</p>

7	質問	P59 経営管理部門に関して、令和7年度の結果報告が記載されていませんが、令和8年度は何に基づいて事業計画を掲げたのでしょうか。
	回答	経営管理における数値的結果については、P33貸借対照表、P34、35の損益計算書となります。R8年度計画については、R7年度の第Ⅲ四半期終了時点で実施した決算見込みと行動計画の振り返りから次年度の事業計画を策定しております。
8	質問	P49 (8) 不祥事未然防止に関して、令和8年度の方針に掲げられていますが、令和7年度には そのような報告がありません。令和8年度に記載があるということは、令和7年度にも不祥事が発生していたのではないのでしょうか。過去の総代会時にはその旨の報告があったと記憶していますが、今回の資料での扱いについてご説明ください。
	回答	当組合では、令和7年度も不祥事は発生しておりません。 今回の資料では、不祥事発生リスクの高い信用共済部門の基本方針の中で、あらためて不祥事未然防止についてを記述しております。
9	質問	P59 経営管理部門(3)②「～および周知による再発防止」については、「～および再発防止策を含めた周知」の誤りではないのでしょうか。単に「問題が起きたこと」を周知するだけでは、再発防止にはつながりません。発生した原因・要因を分析し、その改善策を周知した上で、適切にチェックする仕組みを作ることこそが、同様の事象の再発防止につながると考えますが、いかがでしょうか。
	回答	P59(3)②の「管理」には、発生した原因・要因を分析し、その改善策についてチェックする仕組みを含んでおり、再発防止に繋がっております。
10	質問	P59 経営管理部門(3)③の「3線体制の～」については「3部門体制」の誤りではないのでしょうか。
	回答	事業部門(支店)を第1線・リスク管理部門を第2線・内部監査部門を第3線とした位置づけのもと、不祥事再発防止策の継続した取り組みを行っているため、3部門以外の部門と区分する意味もあり、表記としては「3線」体制とさせていただきます。

11	質問	<p>専門人員の開示（マネロン等）については、配置だけでなく、誰がどうサポートするかなど、分かりやすく記載してもらいたい。</p>
	回答	<p>第2線と呼ばれるリスク管理部門が第1線である支店に対しマネロン対策の監督及び指導（規定・手順の策定や教育）を行います。また、第3線である内部監査部門は独立した立場から、第1線及び第2線によるマネロン対策やリスク管理の有効性（適切に機能しているか）を検証・評価します。</p>
12	質問	<p>総代会資料 59ページの経営管理部門（5）業務の棚卸による適正な人員の検証ということで、47ページ（2）中期要員計画に基づく要員削減では令和9年度以降の要員計画に関しては、事業環境を分析し整理する予定となっているが、例えば最低人員の確保で見ると地元の加茂野支店で3人、富加支店で18人というのは格差が大きすぎると思います。経営状態を見ると、そういった部分にメスを入れた収支に基づいた人員配置が必要なのかなと思います。私たち総代についても相当の一因がありますし、昨今、国会議員を減らそうというような動きもあるので、総代数の見直しも図りながら経営状態を見ていただけないかなと思います。</p>
	回答	<p>店舗再編に関しては、店舗統廃合が終了したという位置づけですが、今後もそれぞれの店舗をどのようにしていくのか、地域の基幹的な店舗や、特化店舗と母店等、検討を重ねていきたいと思っています。人員削減等についても、まずは仕事を見直してからでないと人員削減をすることが職員の負担を大きくしますので、仕事の見直しから行っていくことを考えております。</p>
13	質問	<p>総代会資料が、昨年度と比べて今年度は相当数（10ページぐらい）減って、レイアウト的にも相当変えられているため、分かりづらくなったと感じるが何か意図があるのでしょうか。</p>
	回答	<p>総代会資料は岐阜県への報告書も兼ねており、条件を満たしていればレイアウトを変えても良いとなっております。特に、昨年度までは基本方針ごとに取り組む重点実施事項や具体的事項を羅列しており、事業部門ごとの記載ではありませんでした。今回は、営農指導部門、金融共済部門、生活指導部門というように部門別に整理し、簡略化を図って見やすいものにしたところがありますので、何卒ご理解をいただきたいと思っています。</p>

《総務・管理関係》

令和8年6月10日開催

1	質問	黒川支店の旧Aコープ店舗について活用予定はあるのか。
	回答	現在、地元農産物の集荷場として使用できないかとの相談があり、本店不動産管財課と検討中です。

《営農・経済関係》

令和8年6月12日開催

1	質問	可児地区で米の品種が新しく変わると聞いているが、変わるスケジュールを知りたい。
	回答	高温耐性品種（にじのきらめき）に関しては、令和10年の導入に向け、現在試験圃場で生育調査・品質調査等を行っております。調査2年目の今年度は3.7ha作付けを行っており、昨年の結果は反収で9俵を超え、病害虫の被害も少なく、実際の食味もよく大変良い結果でありました。今後にじのきらめきの刈り取り適期がひとめぼれ・ほしじるしと重なることから、カントリー荷受の調整を踏まえ、生産者の声・他品種との栽培調整・概算金単価等、様々な面から検討し進めて参ります。
2	質問	瀬田SSは、土日になると道路（一車線）が渋滞する。何とかならないか。
	回答	ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。多くのお客様にご来店いただきしており、混雑時には、スタッフによる交通誘導をいたします。

	質問	<p>J Aめぐみのが現在抱えている課題のうち、農業に関しては、担い手不足と農業に従事する方の高齢化の問題がある。そして昨今の中東情勢による農業用資材の価格の高騰も農業者にとっては大きな問題である。また、J Aめぐみのの管内は非常に広大な範囲を抱えており、その中で職員は少数精鋭でやっているが、事務負担の増大を生んでいると思われる。そういった中で、職員の時間外労働の実態把握はどうされているか、また、どう対応しているのか。</p>
3	回答	<p>新たな人材育成としては、新規就農者への支援として、郡上であれば「トマトの学校」や、園芸関係であれば栽培研修会も行っており、人づくりを進めております。労働力不足に関しては、無料職業紹介制度で人材を補っていく体制をとっております。中東情勢については日々変わっている状況ではありますが、全農等にも確認をし、肥料農薬については来年の分は何とか確保するようなことは聞いておりますが、それ以降は未確定です。ビニール関係は非常にひっ迫するのではないかと予想していますが、切れることがなよう進めていくことを考えおります。油については、農機具の関係で確認をしていますが、随時入ってくるということではなく制限されている状況であるので、切らさないように、若干トラクターやコンバインのオイル交換については、先送りをしながら進めていきます。労働時間の関係については、変形労働時間として、季節的に忙しい時はたくさん働いて、農閑期に休むという制度をとっているのご理解いただきたいです。</p>
4	質問	<p>少子化問題や高齢化はJ Aでは何ともならない問題だが、若い人たちにとって魅力ある農業、この種を今から植えていなければいけない。日本の米作は専業農家によるものが30%ほど、70%は兼業農家によるもの。私たちの世代、60代から80代はまだ頑張っているが、なんともならない。私個人の意見だが、農業用AIの活用が必要。今までの大変な農作業は、ロボットひとつで済む。我々が亡くなったら、50年後はどうなるのか、将来を見据えた農業をJ Aに考えてほしい。今はどんどん科学が進んでいる。J Aとしてどういう形で取り入れるのか。若い人たちへのアプローチなど積極的にJ Aで進めてほしい。</p>
	回答	<p>農業人口、後継者が減っているという中で魅力ある農業にするには、やはりスマート農業が必要です。いろいろなスマート農業に関わる試験・展示等開催しておりますが、若い方にも興味を持ってもらえる実証試験等もやっていきたいと考えておりますので、計画後にご案内させていただきます。</p>

※すべてのご質問につきまして、できるだけ原文のまま掲載しておりますが、質問内容をまとめる関係上、いただいたご意見・ご質問と一致しない場合がございますのでご了承ください。

※当J Aの将来を見据えた貴重なご意見を各種賜わり誠にありがとうございました。
 今後もより組合員のみならず必要とされるJ Aとなれるよう事業運営を進めて参ります。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。